

# 平成14年度ホタテ貝採苗情報 (第3報)

平成14年4月26日  
発行:岩手県水産技術センター  
協力機関:沿岸地方振興局水産部

「ラーバ、付着稚貝ともに少ない状況です。」

## 1 ラーバの出現状況

4月24日に唐丹湾で、4月18日に山田湾で生殖腺調査を行いました。

ホタテガイラーバの出現数は、 $200\mu\text{m}$ 未満が6個/トン、 $200\mu\text{m}$ 以上が1個/トンと、前回調査時(合計14個/トン)より減少しました。

依然として、小型のラーバが主体で、付着間近の大型の個体は全く確認されませんでした。

なお、調査時の水深10m層の水温は9.0度で、前回調査時より0.7度上昇しています。

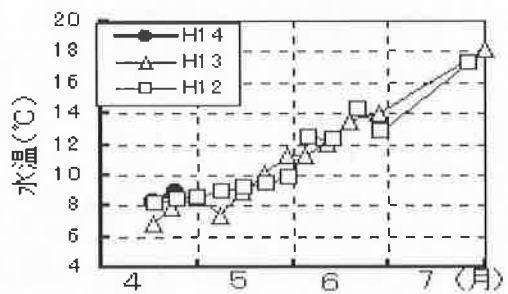


図 唐丹湾における水深10m層水温

## 2 試験採苗器による付着稚貝調査

4月22日以降の調査において、宮古、釜石および大船渡地区で付着稚貝が確認されました。

しかし、付着稚貝数は、何れの地点でも6個/袋以下と、少ない状況です。

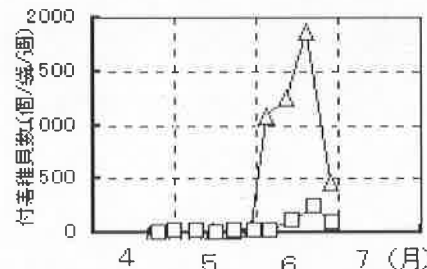
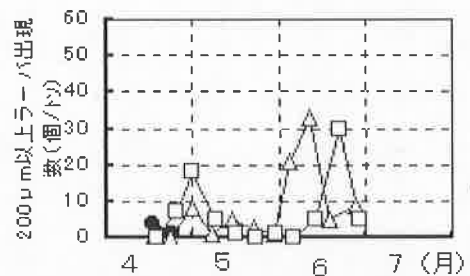


図 ホタテガイラーバ・付着稚貝の出現状況

県中南部以南では、付着間近の大型のラーバは、ほとんど出現していません。

また、試験採苗器への付着稚貝数も少ないことから、まだ、採苗器の投入適期ではありません



図 調査地点および付着稚貝調査結果

次報は、5月2日頃発行する予定です。